

新型コロナウイルスに負けない！

感染防止
対策

コロナワクチン接種が始まります

新型コロナウイルスワクチンは新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止する効果が期待されています。

桑名市でもいち早くワクチンを接種できるよう準備を進めており、3月中旬以降に、まず65歳以上の高齢者に「新型コロナウイルスワクチン無料接種券」を送付します。高齢者以外の人は、順次接種券を送付する予定ですが、時期は未定です。市ホームページなどで随時お知らせします。



市ホームページ

高齢者のワクチン接種について

接種時期

4月上旬以降 ▷ワクチンは一定の日数を空けて2回接種となる見込みです。

対象者

高齢者 ▷令和3年度中に65歳以上に達する人（昭和32年4月1日以前に生まれた人）

接種場所

接種を実施する場所は決まり次第、市ホームページなどでお知らせします。

接種料金

無料

▷ワクチンの接種には本人の同意が必要です。

▷ワクチンに便乗した詐欺にご注意ください！市が、ワクチン接種のために「予約金」などの金銭や個人情報を電話で求めることはありません。

ワクチン接種に関するコールセンターを開設します

ワクチン接種に関する相談などの専用電話窓口を3月1日(月)に開設します。

予約受付などの方法は、接種券送付時に案内します。

桑名市コロナワクチンコールセンター（仮称） ☎ 0120 - 755 - 105

問 コロナワクチン接種課 (☎ 24-1496 FAX 24-3032)

2月8日(月)現在の情報です。



備えあれば
憂いなし！

くわな防災教室

今月のテーマ「共助での安否確認

～災害時の『ご近所への声かけ』が、多くの命を救う～

大規模災害が発生した場合、防災減災に欠かせない共助の取り組みの一つに「ご近所への声かけ」による安否確認があります。これは、自分や家族の安全を確認した後に避難場所などへ向かう際、隣近所の無事を確認するというものです。さまざまな事情により避難情報が伝わっていない人を取り残さない手段として有効です。しかし、災害時という緊急事態の中で、一軒一軒の安否確認を行うのは非常に困難です。

そこで、この「ご近所への声かけ」を効率よく行うための全国的な取り組みとして注目されているものに「黄色いハンカチ作戦」があります。これは、避難する際に「黄色いハンカチ」を玄関先に掲示しておくだけという簡単な取り組みで、これだけで「わが家は大丈夫です。だから他の人を助けに行ってください」という周囲への意思表示となり、安否確認に要する時間を短縮することができます。

「黄色いハンカチ作戦」の基本的なルール

1. 大きな揺れ（地震が発生）を感じたら、在宅している家族全員の安否を確認
2. 家族全員が無事な場合、玄関先に大きく目立つ色の布を掲示します
3. 掲示期間は、災害が発生してから最低3日間

市でも昨年の防災訓練を機に城南地区の一部の自治会で「赤いリボン」を用いた安否確認が始まりました。これらの取り組みは、災害時に有効な手段というだけでなく、平常時から近所付き合いを深め、自治会の防災力向上につながるものです。

また、「黄色いハンカチ作戦」や「赤いリボン」は、掲げて終わりではありません。自分たちが安全であることを知らせた後は、積極的に地域における災害情報を収集し、できる範囲で構いませんので、共助の活動すなわち自主防災活動に参加してください。その輪が広がることで、多くの命が救われることになります。

ぜひ皆さんの自治会でもこの作戦を計画してみませんか。

問 防災・危機管理課 (☎ 24-1185 FAX 24-2945)



城南地区で実施した「赤いリボン」